

令和5年度第1回広島県子ども・子育て審議会（保育部会） 議事要旨

- 1 日時 令和5年9月26日（火）13時30分から14時まで
- 2 方法 WEB会議（広島市中区基町10番52号 広島県庁本館5階）
- 3 出席委員 石田部会長、生田委員、三須委員、山中委員、山田氏（小野委員の代理人）
- 4 出席参考人 三原市こども保育課 課長ほか1名

5 議題

- (1) 広島県子ども・子育て審議会（保育部会）について
- (2) 保育所（にじいろドレミ園（認可権者：三原市））の設置認可について

- 6 担当部署 広島県健康福祉局安心保育推進課
電話 082(513)3174（ダイヤルイン）

7 議事要旨

(1) 開会

部会委員総数6名中5名が出席しており、定足数を満たしていることを確認した。

(2) 議事

ア 広島県子ども・子育て審議会（保育部会）の概要について

事務局から、部会の役割や直近の運営規程の改正内容等について説明し、出席委員の質疑及び意見等なし。

イ にじいろドレミ園（保育所）の設置認可について

事務局から、令和5年10月2日付けで三原市に開所予定の保育所（にじいろドレミ園）について施設概要及び開所までの経緯等を説明し、部会長の司会の下、質疑応答に移った。

(ア) 質疑応答

- 三原市内の他の小規模保育事業所についても、三原市としては、今回と同様に認可保育所へ移行してもらう予定があるのか。

（三原市こども保育課）

市立保育所の多くが老朽化していることから、今後はそうした保育所については合理化を図っていくこととしており、その分の減少する定員数は、小規模保育事業所を認可保育所に移行してもらうなどして、民間事業者に担ってもらう方向で考えている。

- 年度途中の設置認可であるため、3歳以上児の入所希望者は少ないと考えるがいかがか。

（三原市こども保育課）

当初の事業計画では令和5年4月の開所予定だったが、昨今の資材、人材不足等に

より工期が延期し、年度途中の開所となってしまった。

御意見のとおり現時点で4歳以上児の入所希望はないが、移行前の小規模保育事業所に入所していて、4月から現在までの間市内の公立の認可保育所の3歳児クラスで受け入れていた児童数名が、開所に合わせ新しい保育所へ移る予定である。加えて現時点で何件か問い合わせも受けている状況である。

- 上記の年度途中で転所する3歳児クラスの児童は、今回の設置認可までの間、どのようにフォローされたのか。

(三原市こども保育課)

保育所間の引継ぎも適切に行っており、十分なフォローができていると考えている。

- 資金計画に無理はないか。

(三原市こども保育課)

事業開始時期の延期により、当初の入所児童数やこれに伴う収入等にも影響があったが、現時点で公的資金の投入は考えておらず、当該法人で工面すべきことであるとする。

なお、三原市で当面の資金計画を確認したところ、問題はなかった。

- 昨今の少子化により保育所等の合併等が取りざたされている中、三原市では、保育所よりも認定こども園に移行してもらいたいなどの方針があるのか。

(三原市こども保育課)

事業者の意向を尊重しており、市として一律に認定こども園化を進める方針はない。都度、事業者と市で協議を行い、最善の方法を考えたい。

(イ) 諮問

部会長が当該保育所(にじいろドレミ園)の設置認可について出席委員に対し意見がないかを諮った結果、全委員から意見が出なかったため、本議事については承認となった。

(3) 閉会